

患者さんへ

呼吸器外科手術における症例登録事業について

呼吸器外科手術の統計および調査を行うことにより、呼吸器外科に関する研究ならびに診療の進歩、普及を図ることを目的として、横浜市立大学外科治療学教室呼吸器外科グループ関連施設が共有のデータベースを構築することとしました。

1. 本事業への参加について

本事業への参加は患者さんの自由意思に基づくものであり、参加されたくない場合はデータ登録を拒否できます。なお、登録を拒否されたことで、日常の診療等において患者さんが不利益を被ることは一切ありません。

2. データ登録の目的

患者さんにより良い医療を提供するためには、日常の診療データを用いて検討を行い、その検討結果を日々の診療に反映させることが必要です。本データベース事業では、横浜市立大学外科治療学教室呼吸器外科グループ関連施設が協力し合うことにより、単一施設ではなし得ない多くの事例を効率的に解析することが可能となります。

3. 登録される情報の内容

登録される情報は日常の診療で行われている検査や治療の契機となった診断、手術等の各種治療やその方法等です。これらの情報はそれ自体で患者さん個人を容易に特定することはできないものですが、極めて重要な情報ですので厳重に管理致します。情報の取り扱いや安全管理にあたっては、関連する法令や取り決め（「個人情報保護法」、「疫学研究の倫理指針」、「臨床研究の倫理指針」、「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」等）を遵守しています。登録されたご自身のデータをご覧になりたい場合は、お問い合わせください。

4. 登録される情報の使われ方

登録される情報は、参加施設の治療成績向上に役立てるために、参加施設にフィードバックされます。この際に用いられる情報は集計・分析後の統計情報のみとなりますので、患者さん個人を特定可能な形でデータを公表することは一切ございません。情報の公開にあたっては、データベースの運営委員会で議論します。

お問い合わせは、呼吸器外科医師までお願いします。